

【政治】

15 日：中国人民政治協商会議第 12 期大連市委員会第 4 回会議閉幕

15 日、5 日間の日程で行われた中国人民政治協商会議第 12 期大連市委員会第 4 回会議が閉幕した。会議では政協第 12 期大連市委員会の副主席、秘書長、常務委員の選挙結果が発表され、郝方林、安旗がそれぞれ副主席、秘書長に就任した。また、会議は「政治協商会議第 12 期大連市委員会第 4 回会議決議」等を通させた。唐軍書記、肖盛峰市長ら市幹部が閉幕式典に出席した。
(16 日付半島晨报 A02 面)

15 日：第 15 期大連市人民代表大会第 4 回会議閉幕

15 日、第 15 期大連市人民代表大会第 4 回会議が閉幕した。会議は市人代常務委員の姚家凱副主任、陳利民副主任の辞職に関する請求を受け入れ、新たに劉愛軍を副主任とすることを決定した。会議はまた市人代常務委員の補充選挙を行い、人代の各専門委員会主任の人選について決定した。更に、会議は「政府活動報告」を批准し、「大連市国民経済・社会発展第 13 次 5 力年計画に関する決議」、「大連市 2015 年国民経済・社会発展計画執行状況と 2016 年国民経済・社会発展計画に関する決議」、及び「大連市 2015 年予算執行状況と 2016 年予算に関する決議」を採択した。
(16 日付半島晨报 A03 面)

18 日：唐軍書記、金州新区で一般市民の意見を聞き取る座談会を開催

18 日、唐軍書記は金州新区の湾里街道城志社区で座談会を開催し、一般市民の行政に対する意見を聞き取った。唐軍書記はまた一般家庭を訪問するなどし、暖房供給、社会管理、社会コミュニティの建設等の実施状況に対して調査・研究を行った。(19 日付半島晨报 A12 面)

18 日：第 15 期大連市政府第 11 回全体（拡大）会議開催

18 日、第 15 期大連市政府第 11 回全体（拡大）会議が開催され、肖盛峰市長は市政府を代表し、全公務員に対し「今すぐ取りかかる」をスローガンに今年度の目標・任務完成の確保に向け努力していくよう呼びかけた。肖盛峰市長はまた春節期間中の安全生産活動に関する指示を行った。
(19 日付半島晨报 A12 面)

市民の悩みやクレームに答える「民意ネット」、2015 年に約 8 万件の問題を解決

2011 年 12 月に開設された市民の悩みやクレームに答える市政府 HP「民意ネット」には、開設から 2015 年 12 月末までの間に合計 199,297 件の市民によるメッセージが投稿され、うち 98.9% のメッセージに対して政府からの回答・返信がなされ、市民満足度は 94.1% となっている。2015 年に同サイトに寄せられた市民からのメッセージは合計 78,696 件で、そのうち 98.3% のメッセージに対して政府からの回答・返信がなされ、94.1% の市民満足度を得た。(20 日付大連日報 1 面)

19 日：大連市民政工作会議開催

19 日、市政府は大連市民政工作会議を開催し、都市部及び農村部の生活困難住民が医療サービスを受ける際、その自己負担率を 5 割から 3 割に引き下げ、補助金の限度額を通常の病で 1 万元、深刻な病で 2 万元まで引き上げること等、2016 年の各種政策目標を発表した。
(20 日付新商報 A04 面)

19日：大連市衛生・計画生育工作会議、大連市医療改革テーマ会議開催

19日、大連市衛生・計画生育工作会議、大連市医療改革テーマ会議が開催され、新型農村合作医療と都市住民の基本医療保険の財政補助基準額を1人当たり30元引き上げ510元にする等、2016年の各種政策目標を発表した。(20日付新商報 A05面)

20日：市党委常務委員会会議開催

20日、市党委常務委員会会議が開催され、習近平総書記が第18期中央紀律検査委員会第6回全体会議で行った重要講話の精神及び中央紀律検査委員会全体会議の精神等について学習した。唐軍書記が会議を主宰し、発言を行った。(21日付大連日報1面)

また、会議では市人代常務委、市政府、市政協、市法院及び市検察院の党組による2015年の活動報告に対する聞き取りが行われた。(22日付半島晨报 A13面)

21日：市党委中心チーム（拡大）テーマ学習会開催

21日、市党委中心チーム（拡大）テーマ学習会が開催され党の規則や方針を遵守し自身の行いを律することを旨とした「三厳三実」をテーマとする中央政治局「民主生活会」で、習近平総書記が行った重要講話の精神について学習した。唐軍書記が会議を主宰し、講話を行った。

(22日付半島晨报 A13面)

【経済】

18日：「欧米企業座談会」開催

18日、大連国際金融会議センターにて「欧米企業座談会」が開催され、30社余りの欧米企業、及び中国米国商会東北分会の代表が参加した。市の各関連部門は欧米企業側が提起した製造業発展計画、環境管理、高級人材の税金還付、駐車場建設、レール交通建設、ビザ、汚染物排出費、設備の輸入関税等の問題に回答し、政策の説明を行った。盧林副市長が会議に参加し、「2012-2014年度優秀外国投資企業」に選ばれた欧米企業6社に対し栄誉牌を手渡した。(19日付大連日報3面)

19日：西中島石油化学産業パークで2件の大型プロジェクトがスタート

19日、西中島石油化学産業パーク管理委員会はアメリカのエアプロダクト・アンド・ケミカルズ社、誠志株有限公司、西中島石油化学工業パーク発展有限公司、フランスのヴェオリア・エンバイロメント社と、「工業用ガス生産・メタノールによるオルフィン生産」プロジェクト、「リサイクル資源産業パーク」建設プロジェクトの調印式典を行った。(20日付大連日報1面)

21日：大連市、中国鉄建株有限公司と戦略協力枠組み取決めを締結

21日、市政府は中国鉄建株有限公司と戦略協力枠組み取決めを締結し、肖盛峰市長と同社の庄尚標総裁が署名式典に出席し、会見を行った。取決めによれば、同社は今後大連市の都市レール交通、工業用・民用建築物、港湾及び水路等の建設分野にて、PPPモデルの協力を行っていく予定。(22日付半島晨报 A13面)

21日：肖盛峰市長、栄氏投資グループの栄克敏主席と会見

21日、肖盛峰市長は栄氏投資グループホールディングス有限公司董事局の栄克敏主席一行と会見を行い、双方は金融分野での協力を強化していくこと等の問題について意見交換を行った。

(22日付半島晨报 A13面)

27日：「中韓露国際物流ルートの共同建設に関する協力覚書」調印式開催

27日、「中韓露国際物流ルートの共同建設に関する協力覚書」の署名式が行われ、唐軍書記、肖盛峰市長が式典に出席し、同じく式典に出席したロシアカルーガ州のラープチェフ第1副知事、韓国仁川市のホン・スンマン副市長、ロシア鉄道のババーエフ副総裁、韓国サムスン電子のイ・ジュンヨン副社長一行と会見を行った。また、「大連・カルーガ州を結ぶ物流ルート建設に関する協力覚書」の署名式典も同時に行われた。

合意内容によれば、大連市及び大連港グループはその整った航路と便利で素早い通関環境を利用し、仁川港・大連港・満州里・ロシアを結ぶ物流ルートを開通し、企業に対し効率が良くコストの安い全行程一体化型の物流サービスを提供する。サムスン電子は今後大連を極東及び東南アジア地域の連絡輸送における集結地としていく見通し。通常、大連からカルーガ州に貨物を輸送する場合、海運であれば40日、その他の陸路であれば30日の時間を要するが、今般開通した中韓露国際物流ルートを利用すればその時間がわずかに12日となり、大幅に時間的コストを削減することができる。大連港グループはこの物流ルートを利用し、更に多くの国内企業及び韓国・ロシア企業と協力関係を締結し、その貿易・物流分野をよりいっそう豊富なものとしていく予定。

【社会・文化】

18日：12月の大連新築住宅価格、前年同月比で1.8%下降

18日、国家統計局が発表したデータによれば、12月の大連市新築住宅価格は前年同月比で1.8%下降した。(19日付半島晨报 A17面)

19日：紅沿河原子力発電所の第1期工程、年内に完成の見込み

19日、遼寧紅沿河原子力発電所有限公司が記者発表会を行い、当該発電所の4号機が年内にも運転を開始する見込みで、これにより年内には第1期工程が全て完成する予定であると発表した。また、発表によれば当該発電所が生産する電力は大連市の年間使用電力の約4割を占めており、第2期工程の5、6号機についても、2015年3月、7月にそれぞれ施工が開始されたとのこと。

(20日付大連日報 1面)

19日：2016年は2艘の大型クルーズ船が大連に停泊

19日に大連港グループが発表したところによれば、昨年の「中華泰山号」に続き、今年は「MSC LIRICA号」が大連港を始発港として運航し、「Royal Caribbean号」も大連港に停泊する予定とのこと。「MSC LIRICA号」は大連港を始発港とし、9月から10月にかけて大連・韓国・日本間を8回行き来する予定。(20日付半島晨报 A13面)

国産の新型掃海艇が就航

先日、海軍の新型掃海艇「栄成艦」の就役式典が大連の某軍港で行われた。この艦艇は、中国が独自に研究・設計・生産した新世代の082II型の掃海艇であり、北海艦隊の最初の新型掃海艇となっている。この艦艇の主要な役割は海上パトロール、漁業保護・航路保護であり、今後水雷等の除去・処理、海上ルート確保等の任務を実行する。(27日付大連日報 3面)

【日本関連報道】

18日：日本の「介護サービス」が大連に上陸

18日、日中合弁企業である「大連康安健康管理諮詢有限公司」が営業を開始した。同社の目玉は日本の「介護サービス」を大連に導入し、大連市民に日本の「ケア・マネージャー」による専門的サービスを提供する点にある。同社の成立の裏には独自の医療人員育成システムを持つ日本のQPC社による後押しがあり、今回大連に登場した「ケア・マネージャー」らも皆QPC社にて専門的トレーニングを受けている。(19日付大連晩報A6面)

日露戦争の模様を描くドキュメンタリー「1905旅順記憶」、今年4月にもCCTVで放映

21日、日露戦争の模様を描くドキュメンタリー「1905旅順記憶」の試写会及び交流討論会が大連テレビ局で行われた。当該ドキュメンタリーは中央電視台、大連テレビ局及び大連天途ケーブルテレビネット株式会社が共同制作した4部からなる大作で、今年4月にも中央電視台のドキュメンタリーチャンネルにて放映される見込み。

(22日付大連晩報A3面)

(注) 1月16日～29日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。